



**第2回**  
**福島県沖を震源とする地震等に係る鳥取県災害支援準備連絡会議**

**【日時】令和4年3月22日(火)午後5時～**

**【場所】災害対策本部室(県庁第2庁舎3階)**

**【参加者】**

**知事、副知事、統轄監、危機管理局、令和新時代創造本部、  
総務部**

**\* 副知事、統轄監は別室で参加**

**\* 各総合事務所・市町村・消防局にはテレビ配信を実施**

# 目的・次第

## <目的>

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震及び3月18日に発生した岩手県沖を震源とする地震の被害状況と本県の支援等を確認する。

## <議題>

- 1 地震の概要等
- 2 被害状況
- 3 国、全国知事会等の対応
- 4 本県の対応

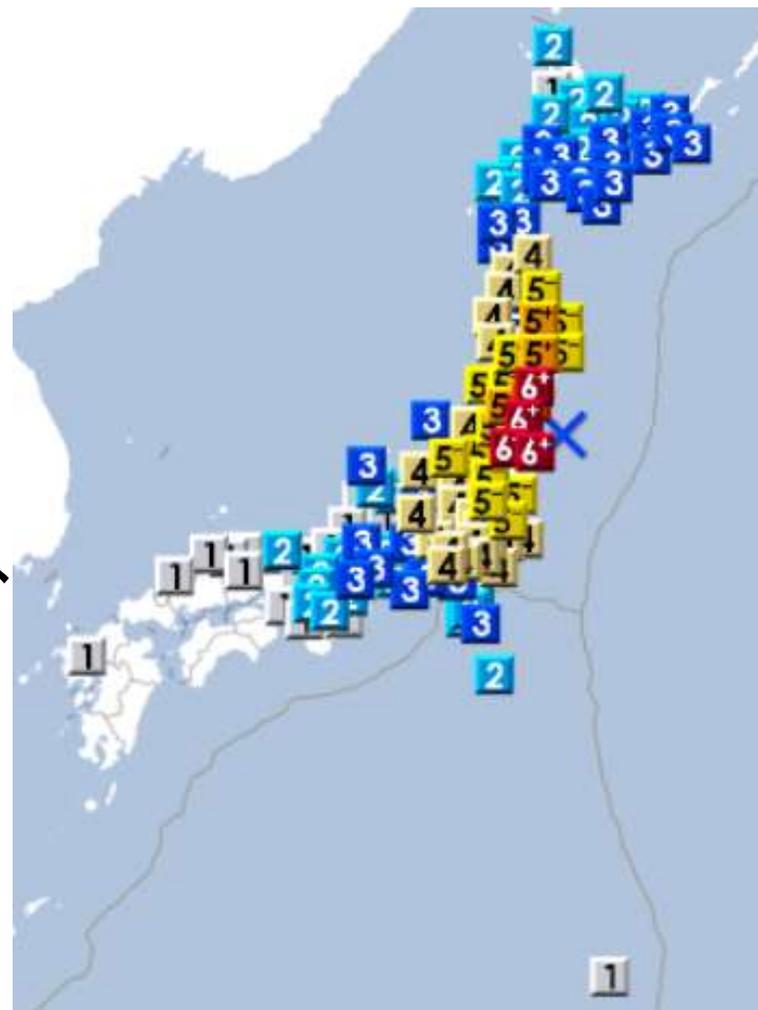
# 1 地震の概要等(1)

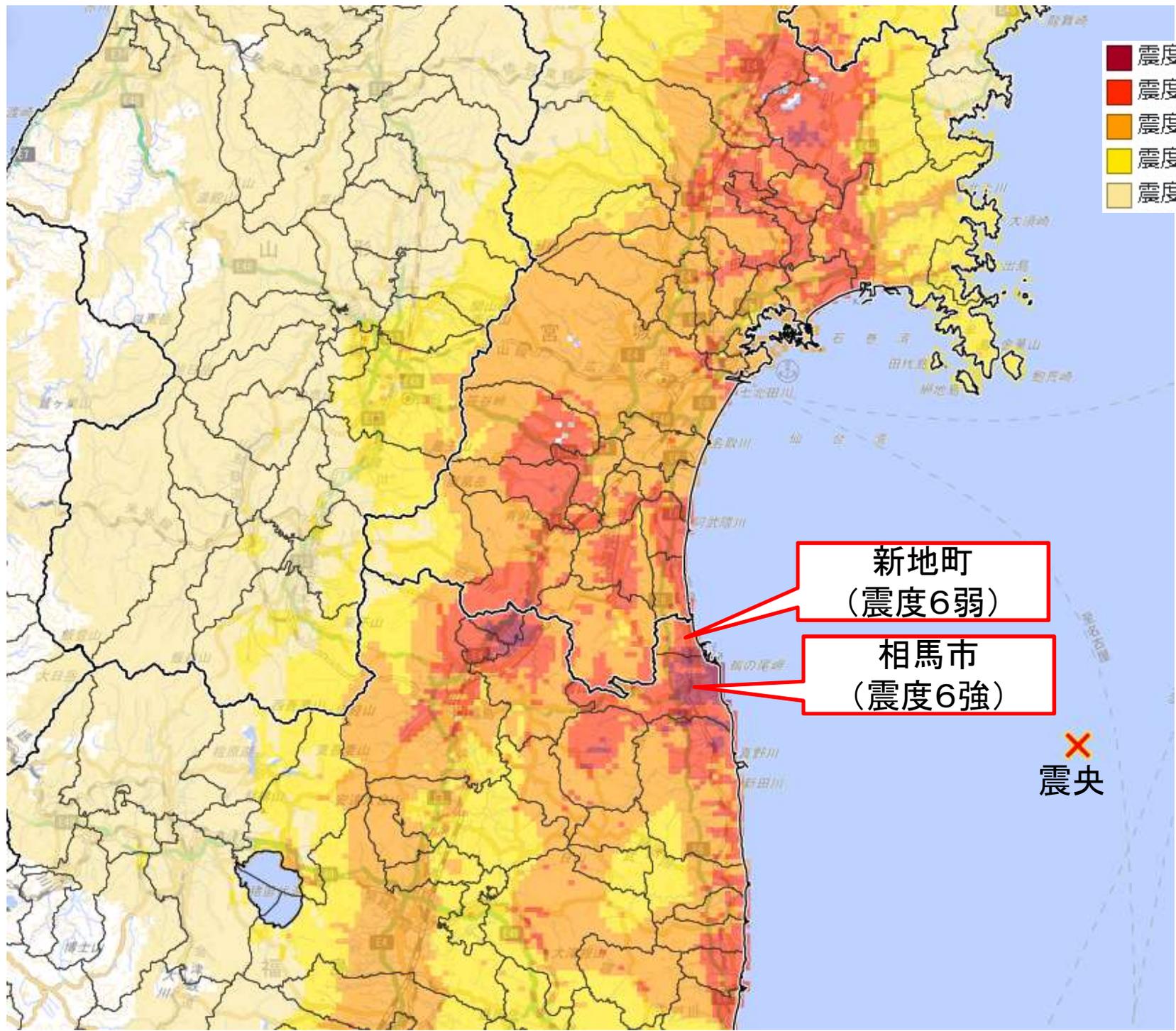
## 地震の概要

- ・発生日時 3月16日23時36分
- ・マグニチュード 7.4(暫定値)
- ・震源 福島県沖 深さ57km(暫定値)  
(北緯37度41.8分、東経141度37.3分)
- ・震度6強:宮城県登米市、蔵王町、  
福島県相馬市、南相馬市、  
国見町(3市2町)
- 震度6弱:宮城県石巻市、  
福島県福島市、新地町他
- 震度5強:岩手県、宮城県、山形県、  
福島県

※このほか震度1までの揺れを北海道から九州にかけて広い範囲で観測

- ・津波:石巻港で最大0.3m



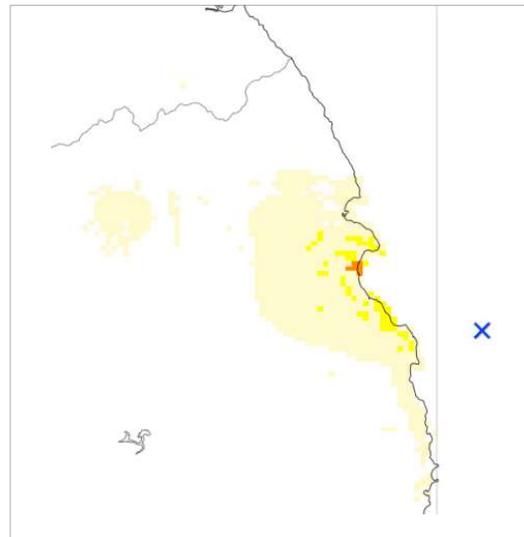
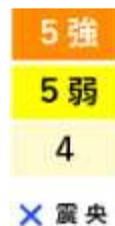


# 1 地震の概要等(2)

## 地震の概要

- ・発生日時 3月18日23時25分
- ・マグニチュード 5.6(暫定値)
- ・震源 岩手県沖 深さ18km(暫定値)
- ・震度5強:岩手県野田村  
震度5弱:岩手県普代村
- ・津波なし

<推計震度分布>



## 2 被害状況

### 主な被害状況（3月22日7時30分 消防庁、11時 福島県）

	福島県	宮城県	その他の県
人的被害	死者:1人 重傷:8人 軽傷:91人	死者:2人(うち災害 関連死1人) 重傷:6人 軽傷:89人	岩手県:重傷1人、軽傷4人 秋田県:軽傷1人 山形県:重傷3人、軽傷1人 茨城県:重傷2人、軽傷6人 栃木県:軽傷2人 埼玉県:軽傷6人 千葉県:軽傷3人 神奈川県:軽症5人 新潟県:重傷1人 山梨県:重傷1人、軽傷1人
住家被害	半壊3棟 一部破損:226棟 (※)	半壊:2棟 一部破損:120棟	秋田県:一部損壊1棟 山形県:半壊1棟、一部損壊1棟 群馬県:一部損壊1棟
住民避難 (3/22 11時現在)	避難所数:7箇所 避難者数:111人 (53世帯)	避難者なし	避難者なし

※福島県の内堀知事は本日の記者会見で、災害対策本部の公表している家屋被害の件数はほんの一部。市町村と連携してできる限り速やかに把握したいと答えています。

## 3 国、全国知事会等の対応

### <福島県の支援要請>

○相馬市、新地町で罹災証明手続に必要な被災家屋調査(第一次)に関して  
応急対策職員派遣制度による応援派遣を総務省に要請



### <総務省の対応>

・22日 現地調整会議・確保調整会議を開催し、応援派遣を決定。

#### 【総務省の応急対策職員派遣制度】

##### <制度概要>

- ・被災都道府県は、総務省及び被災地域ブロック幹事都道府県に応援職員派遣依頼
- ・総務省は派遣が必要と判断した場合は、被災市区町村応援職員確保調整本部  
(構成:総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会等)を設置
- ・確保調整本部は、関係省庁等からの情報収集、情報共有並びに総合的な調整等を行う。

##### <目的>

- ・被災市区町村が行う災害マネジメントの総括的支援
- ・避難所運営や罹災証明書の交付(住家の被害認定調査も含まれる)等災害対応業務の支援

## 4 本県の対応

### <全国知事会会長県として現地調整会議・確保調整会議に参画>

- 現地調整本部に危機管理局職員2名を派遣
- 確保調整会議に引き続き参画

### <被災家屋調査(第一次)の派遣準備>

- 家屋被害認定調査について要請があった場合は、速やかに派遣できるように各市町村においても準備を引き続きお願いしたい。

### <その他、被災県からの支援要請への対応>

- 24時間の情報収集体制を継続。
- 宮城県、福島県等から、人的支援、物的支援の要請があった場合は、直ちに必要な支援を行う。
- 全国知事会、北海道東北地方知事会、関西広域連合等と連携して対応